

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	城西大学
設置者名	学校法人城西大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
経済学部	経済学科		50	0	46	96	13	
現代政策学部	社会経済システム学科		44	0	36	80	13	
経営学部	マネジメント総合学科		46	0	32	78	13	
理学部	数学科(坂戸)		29	0	8	37	13	
	数学科(東京紀尾井町)		0	0	48	48	13	
	化学科		37	0	108	145	13	
薬学部	薬学科		2	15	43	60	19	
	薬科学科		34	15	25	74	13	
	医療栄養学科		18	0	34	52	13	
(備考) ● 専門科目には、専門科目以外の科目群(関連科目・自由科目)の授業科目も含まれる。 ● 実践的教育から構成される授業科目も含まれる。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ポータルサイト(JUnavi)のトップページに掲載する。 https://junavi.josai.ac.jp/camweb/top.do

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	城西大学
設置者名	学校法人城西大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表 https://www.josai.jp/about/director/
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤 上原 明 理事長	大正製薬ホールディングス(株)代表取締役社長	2021.4.1 ~ 2025.3.31	理事長
非常勤 吉本 高志 理事	元独立行政法人大学入試センター理事長	2021.4.1 ~ 2025.3.31	大学経営全般に関する指導、助言及び管理、監督
非常勤 羽入 佐和子 理事	元国会図書館館長	2021.4.1 ~ 2025.3.31	学術研究に関する指導、助言及び管理、監督
非常勤 浅島 誠 理事	帝京大学学術顧問	2019.4.1 ~ 2023.3.31	学術研究に関する指導、助言及び管理、監督
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	城西大学
設置者名	学校法人城西大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

○授業計画書《シラバス》の作成過程について

シラバス掲載内容及び作成にあたっての留意は以下のとおり

- (1) 科目基本情報
 - ①科目名
 - ②配当年次
 - ③開講期間
 - ④単位数
 - ⑤担当教員名
 - ⑥期間・曜日・時限・教室
- (2) 授業の目的・目標等
 - ①授業の概要
 - ②授業の目的
 - ③修得できる力
 - ④授業の到達目標
 - ⑤実務経験と授業内容との関連
※実務経験を有する教員の場合は記述する。
- (3) 準備学習の指示
- (4) 講義スケジュール
- (5) 教科書
- (6) 参考文献
- (7) 授業の方法
- (8) 成績評価方法
※到達目標の達成度を測定できる方法を記述する。
 - ・評価方法
 - ・割合
 - ・評価基準など
- (9) オフィスアワー、居室
- (10) その他特記事項

なお、シラバス作成にあたり、3つのポリシー及び当該学部・学科のカリキュラムポリシーに準じて記述するよう留意し作成している（結果として大学の教育の質の保証に繋がることを意識し作成にあたる）。

○授業計画の作成・公表時期

例年、前年度の10月中旬頃に各教員が担当する授業担当科目が決定する。

それに伴い、11月初旬頃からそれぞれの教員がシラバスの作成が始まり、学部内のチェックを得て新年度までに完成させる。

公表方法及び公表時期については、当該年度開始と同時に大学のポータルサイト(JUnavi)や大学ホームページから閲覧できるようになっている。

授業計画書の公表方法	ポータルサイト(JUnavi)のトップページに掲載する。 https://junavi.josai.ac.jp/camweb/top.do
------------	---

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

それぞれの学部、学科にて学年毎に履修すべき科目や選択科目を設置している。

授業は原則として、前期・後期それぞれ90分授業を基本（実験・実習は除く）とし、15週の授業で構成している。さらに1年間の履修上限を設定することで、学生の各授業科目の学習時間の確保を行い、単位制度の実質化につなげている。

履修した授業科目に対しては、あらかじめシラバスで記してある成績評価方法（試験やその他の評価方法〈課題・レポート等〉）により評価をしている。なお、いずれの授業科目も授業時数の1/3以上欠席した場合には、原則として当該授業科目の受験資格を失うこととしている。

○単位授与及び成績評価基準について

学生が履修した授業科目に対して、試験その他の方法（レポート等）により学習評価をしたうえで、その単位を認定する。単位認定の評価は、S・A・B・Cにより単位を修得したことを示す。評価の基準については、次のとおりとなっている。

成績評価	評価基準（点）	合否
S	100～90	合格
A	89～80	合格
B	79～70	合格
C	69～60	合格
F	59以下	不合格

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価方法及び評価基準については大学設置基準に基づいて、学則第 26 条ならびにシラバスに記載されている。本学では、GPA 制度を導入しており、学生は自らの学習成果の推移を知り、学修の自己管理ができるようになっている。GPA の結果は、学科毎に通知する成績表や成績証明書に記載している。

学則に示される成績評価の基準は、100 点満点で、100～90 点が「S」評価、89～80 点が「A」評価、79～70 点が「B」評価、69～60 点が「C」評価で、以上が合格とし、59 点以下が「F」評価の不合格となる。それぞれの GPA のポイントは、4、3、2、1、0 となっている。

単位については、大学設置基準に基づき学則 15 条で定められている。

(G P の基準)

成績評価(表示)	評価の基準(点)	合否	G P
S	100～90	合格	4
A	89～80	合格	3
B	79～70	合格	2
C	69～60	合格	1
F	59 以下	不合格	0

[G P × 当該科目の単位数] の合計

$$G P A = \frac{\text{[G P} \times \text{当該科目の単位数] の合計}}{\text{履修登録科目の単位数の合計 (F 評価を含む)}}$$

※不合格となった科目を次年度以降に再履修して合格した場合には、成績は上書きされ、過去の不合格の成績は、GPA 計算式に算入されない。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

〈成績評価基準〉
学生便覧（入学時に配付）の「履修の手引と手続き」に掲載
[学生便覧入手方法]
城西大学教務課にて入手可能
TEL 049-271-7723(直通)

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

【学位授与の方針】

○経済学部

経済学部は、本学の建学の精神を実現するため、地域および国際社会に貢献する人材育成を目標とし、経済学部が定めたカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修め、以下に示す能力を修得したと判断された者に学位を授与します。

- 経済学についての基礎知識を修得している。
- 教養教育を通じた批判的思考・論理的汎用力を修得している。
- 経済学を中心とする社会科学の知識をもとに、現代経済社会の諸問題について主体的に考えて分析し、解決策の提案ならびに考察できる。
- 経済学に関連する幅広い教養と十分な語学力を身につけ、さまざまな文化的背景を持つ人々と交流できる。

－卒業要件－

(学則第 27 条)

卒業するために、必要とされる最低単位数は、次のとおりとする。

経済学部

基本科目 24 単位

専門科目 52 単位

関連科目 52 単位

計 128 単位

○現代政策学部

現代政策学部は、建学の精神「学問による人間形成」に基づき、政策学を中核とする課題発見・解決のための幅広い分野の学びとリベラルアーツ科目の学びにより、生涯にわたり自律的に学び続けることができ、高い倫理観を持ち社会貢献できる人材を育成することを理念とします。そのため、公共政策、ビジネス法務、医療福祉政策、地域イノベーション、および国際文化政策の 5 つの実践的な課題領域を設置し、政策学を中核とする幅広い知識とその応用スキルを身に着け、創造性、批判的思考、コミュニケーション能力や協働する力を涵養します。具体的には、次の 8 項目を教育目標とします。

- 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術 (ICT) を効果的に活用する力。
- 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力
- 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

上記に掲げる資質や能力を身に着けたもので、本学に 4 年以上在学し、所定の授業科

目を履修して 130 単位以上を修得し、5つの課題領域から専攻を選択し、所定の単位を修めたものに「学士（現代政策学）」を授与します。

—卒業要件—

（学則第 27 条）

卒業するために、必要とされる最低単位数は、次のとおりとする。

現代政策学部

基本科目 44 単位

専門科目 50 単位

関連科目 36 単位

計 130 単位

○経営学部

経営学部では、地域社会や国際社会で活躍する起業家精神（アントレプレナーシップ）をもったマネジメントのプロフェッショナルの育成を目標としています。所定の単位を取得し、以下の知識・能力を修得したと判断された人に学士（経営学）を授与します。

- 幅広い教養とマネジメントについての専門的知識
- 地域社会や国際社会で活躍するための基礎的能力（コミュニケーション・リテラシーとメディア・リテラシー）
- マネジメントに関わる問題や課題を自ら発見し、解決するための思考力・判断力・実践力
- 起業家精神（アントレプレナーシップ）をもち、社会や組織の中でリーダーシップを発揮し、価値を創造する能力
- 多様な人と協力し、市民としての高い責任感と倫理観をもって主体的に社会に貢献する能力

—卒業要件—

（学則第 27 条）

卒業するために、必要とされる最低単位数は、次のとおりとする。

経営学部

基本科目 28 単位

専門科目 72 単位

関連科目 32 単位

計 132 単位

○理学部

理学部では、理学の本質を論理的、実証的に解析・考察する能力と、複雑な社会情勢に適応できる能力を身につけ、さらに各学科の所定の要件を満たす人に学士（理学）の学位を授与します。

[理学部・数学科]

理学部数学科では、論理的思考ができ、現実の諸問題を数理的に解明し解決できる能力を備えた人材、および中学・高校の数学教員として教育現場で教育を行うことのできる能力を備えた人材を育成することを目標として、以下の態度、意欲、技能を習得することを目指した学位授与方針を満たした人に学士の学位を授与します。

- 数学の知識と応用によって現代社会の多様な問題を数理的に理解する態度と問題

を解決しようとする意欲（態度と意欲）

- 数理科学の知識とコンピュータ技術によって現代社会の多様な問題の解決に貢献する技術と能力（技術と能力）

－卒業要件－

（学則第 27 条）

卒業するために、必要とされる最低単位数は、次のとおりとする。

理学部 数学科

基本科目	12 単位
専門科目	88 単位
関連科目	18 単位
<u>専門・関連</u>	<u>6 単位</u>
計	124 単位

[理学部・化学科]

理学部化学科は、社会が持続的に発展するために必要な人材の育成を目標として、以下の能力を修得した人に学士の学位を授与します。

- 大学課程の化学に関する専門的な知識や技能を備え、地域社会や国際社会で活躍できる能力
- 化学の修得をつうじて獲得した、社会人として適切にふるまうことができる思考力、判断力、表現力や道徳的素養
- 修得した化学の知識と技能を基礎として、社会の多様性に配慮して主体的かつ協働的に実社会に貢献できる能力
- 教職を志望する人には、その職務の遂行に必要な能力

－卒業要件－

（学則第 27 条）

卒業するために、必要とされる最低単位数は、次のとおりとする。

理学部 化学科

基本科目	12 単位
専門科目	98 単位
関連科目	18 単位
計	128 単位

○薬学部

薬学部では、人々が生活と人生の質を高く維持し、健康のより良い状態を目指すことを支援できる専門知識・技能、思考力・判断力・表現力を有し、実社会に貢献できる能力を身につけ、さらに各学科の所定の要件を満たす人に学士（薬学、薬科学、医療栄養学）の学位を授与します。

[薬学部・薬学科]

薬学科は、基本的な薬学の知識に加え、医療人として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備え、人々の健康増進を積極的に支援する薬剤師の育成を目的としています。このような教育目的に沿って構築されたカリキュラムを履修して卒業時に次に掲げる能力を修得し、さらに本学科の所定の卒業要件を満たした人に対して、卒業を認定し、学士（薬学）の学位を授与します。

- 医療人としての強い自覚をもち、深い専門的な知識、広い教養と豊かな人間性を

備え、関連する広範な分野で活躍する能力

- 医療人として適切にふるまうことができる道徳的能力や思考力、判断力、表現力に加え、薬学を基盤とした研究力を有し、人々の健康増進に貢献する能力
- 医療人としての深い専門的な知識と技能を、地域社会の維持・発展に対して、グローバルな視点をもって積極的に利用する能力
- 医療・介護・福祉制度、多職種役割を理解し、地域包括ケアシステムやチーム医療の場において主体的かつ協働的に貢献する薬剤師としての能力
- 栄養学の素養、食と健康の関係に関わる知識を有し、例えば、かかりつけ薬剤師として、人々の身近にいて、その健康維持に貢献する能力

—卒業要件—

(学則第 27 条)

卒業するために、必要とされる最低単位数は、次のとおりとする。

薬学部 薬学科

基本科目	10 単位
専門科目	170 単位
関連科目	6 単位
計	186 単位

[薬学部・薬科学科]

薬科学科は、基本的な薬科学の知識に加え、研究者・技術者として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備えて社会に貢献できる人材の育成を目的としています。この目的を達成するために構築されたカリキュラムを履修して卒業時に次に掲げる能力を修得し、さらに本学科の所定の卒業要件を満たした人に対して、卒業を認定し、学士（薬科学）の学位を授与します。

- 人々の生活を支援する研究者・技術者としての強い自覚をもち、広い教養と豊かな人間性を備え、社会で活躍する能力
- 研究者・技術者として深い専門的な知識や技能を備え、地域社会や国際社会で活躍できる能力
- 研究者・技術者として適切にふるまうことができる道徳的能力や思考力、判断力、研究力を有し、高度な科学技術に貢献できる能力
- 薬学、化粧品・香粧品学、食品・栄養学の素養を有し、関連する広範な分野で主体的かつ協働的に貢献できる薬科学研究者・技術者になる能力
- 薬科学の基礎知識を基盤としてさらに高い専門性を有する薬科学を学び研究力を発展させることができる能力

—卒業要件—

(学則第 27 条)

卒業するために、必要とされる最低単位数は、次のとおりとする。

薬学部 薬科学科

基本科目	10 単位
専門科目	108 単位
関連科目	6 単位
計	124 単位

[薬学部・医療栄養学科]

医療栄養学科は、基本的な医療栄養学の知識に加え、医療人として専門知識と実践

力、さらには倫理性を兼ね備えて社会に貢献できる人材の育成を目的としています。このような目的に沿って構築されたカリキュラムを履修して卒業時に次に掲げる能力を修得し、さらに本学科の所定の卒業要件を満たした人に対して、卒業を認定し、学士（医療栄養学）の学位を授与します。

- 医療人としての強い自覚をもち、広い教養と豊かな人間性を備え、社会で活躍できる能力
- 医療人として深い専門的な知識や技能を備え、地域社会や国際社会で活躍できる能力
- 医療人として適切にふるまうことができる道徳的能力や思考力、判断力、表現力に加え、医療栄養学を基盤とした研究力を有し、人々の健康増進に貢献できる能力
- 医療制度、他職種の役割を理解し、チーム医療において主体的かつ協働的に貢献する管理栄養士になる能力
- 医学、薬学の素養を有し、関連する広範な分野で人々の健康を護るために活躍できる管理栄養士になる能力

－卒業要件－

（学則第 27 条）

卒業するために、必要とされる最低単位数は、次のとおりとする。

薬学部 医療栄養学科

基本科目	9 単位
専門科目	1 1 6 単位
関連科目	6 単位
計	1 3 1 単位

【卒業判定の手順】

最終学年（4年生〈薬学科は6年生〉）の成績評価表を基に、各学部にて定められた卒業要件にそって、科目の成績評価が適切に行われているか確認を行った上で、卒業可否を決定する。各学部において定められた、分野ごとの科目評価を確認する。
 なお、学生に対する卒業可否についての発表は「卒業発表日」（年間行事予定表に掲載）に行う。

卒業の認定に関する方針の公表方法	大学ホームページにて公表 [https://www.josai.ac.jp/] なお、卒業に必要な科目及び単位数については、「学生便覧」（入学時に配付）の「履修の手引と手続き」に掲載している。 [学生便覧入手方法] 城西大学教務課にて入手可能 TEL 049-271-7723(直通)
------------------	---

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	城西大学
設置者名	学校法人城西大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	インターネット https://www.josai.jp/about/kiso/pdf/kessan_2020.pdf
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	インターネット https://www.josai.jp/about/kiso/pdf/zaisan_2020.pdf
事業報告書	インターネット https://www.josai.jp/about/kiso/pdf/jigyou_2020.pdf
監事による監査報告(書)	インターネット https://www.josai.jp/about/kiso/pdf/kansa_2020.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:学校法人城西大学2021年度事業計画 対象年度:2021年度)
公表方法: https://www.josai.jp/about/plan/project/pdf/jigyokeikaku_2021.pdf
中長期計画(名称:学校法人城西大学中期計画 対象年度:2020~2024年度)
公表方法: https://www.josai.jp/about/plan/pdf/chukikeikaku.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.josai.ac.jp/about/activity/evaluation.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.josai.ac.jp/about/activity/evaluation.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 経済学部
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html) (概要) 城西大学経済学部は、常に新しい時代を視野に入れ、学際的な研究・教育を実践します。さまざまな個性、文化的背景を持つ学生が、学問を通して、論理的・多面的に考え、自ら問題解決する力を養い、それぞれの個性を伸ばし、地域や国際社会でそれらを生かしたキャリアを形成していくことができるよう教育を行います。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html) (概要) 経済学部は、本学の建学の精神を実現するため、地域および国際社会に貢献する人材育成を目標とし、経済学部が定めたカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修め、以下に示す能力を修得したと判断された者に学位を授与します。 ●経済学についての基礎知識を修得している。 ●教養教育を通じた批判的思考・論理的汎用力を修得している。 ●経済学を中心とする社会科学の知識をもとに、現代経済社会の諸問題について主体的に考えて分析し、解決策の提案ならびに考察できる。 ●経済学に関連する幅広い教養と十分な語学力を身につけ、さまざまな文化的背景を持つ人々と交流できる。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html) (概要) 経済学部は、世界と日本の経済の仕組みや動向を理解、分析し、問題を解決する力を身につけることを目標とした教育課程を編成しており、経済学やデータサイエンスに関する基礎科目と専門科目、幅広い分野にわたる教養科目、様々な外国語科目を配置しています。なお、段階的な積み上げにより、基礎知識を確実に修得し、基礎知識の修得後は、学生の個人的関心に応じた学習目標の設定を可能としています。 また、学生の進路の道しるべとして、「アジア・国際経済コース」「企業・産業経済コース」「金融・証券経済コース」「地域・環境経済コース」「データサイエンスコース」の5つのコースを設定しています。 ●基礎となる経済学の諸概念を学ぶために、初年次教育として基礎科目を1年次に配置しています。また、専門分野である経済学を幅広い視点から理解していくために、人文科学、社会科学、自然科学など、他分野の知識が修得できるように教養科目（関連科目（第二分野））を配置しています。

●経済学の専門科目については、経済学を体系的に理解するために段階的な学習に配慮しています。基礎的な知識と理解を深めるために、「経済事情A」「経済事情B」「経済学の考え方」「マクロ経済学入門」「ミクロ経済学入門」を1年次より選択必修科目として配置するとともに、経済学科として修得すべき関連科目（第一分野）を選択必修科目として配置しています。また、履修コースごとに設置されたコース科目は、基本的に2年次以降に配置し、経済学に対する体系的な理解を深めます。さらに、経済学において求められる情報・データを収集し活用することのできる能力を向上させるために、統計学やデータサイエンスに関する科目を配置しています。加えて、コースを超えた諸問題を学ぶために関連科目（第一分野・第二分野）や教職関連科目を配置しています。これらの科目を履修することで経済学的思考力を涵養します。

●最新の金融市場に関する情報や金融業界の取り組み、金融機関の経営や業務内容など、生きた金融の知識を習得するために、金融の現場で働く実務家を講師として招いて行われる「特殊講義（寄付講座）」を配置しています。

●ともに学ぶ教員や仲間との関係を深め、知ること、学ぶことの楽しみを味わい、各種アカデミックスキルの習得を促し、円滑に大学での学修や生活に適應することを支援するために、1年次に「フレッシュマンセミナー」を配置しています。2年次以降は、1年次に形成した各種スキルを基盤とし、学生自身が関心のあるテーマを深め、自ら探求するとともに、個性を伸ばしていくことができるように「ソフォモアセミナー」「ゼミナールI」「ゼミナールII」をそれぞれ配置しています。これらの科目は必須科目であり、履修することでコミュニケーション能力、論理的思考力、総合的判断力を涵養します。

●外国語科目では、国際社会におけるコミュニケーション能力を涵養するために、英語（留学生は日本語）を必修とし、その他にも、ヨーロッパやアジアの国々の言語を選択科目として配置しています。また、オール・イングリッシュで学べる科目も配置しています。さらに、経済学部独自の海外研修プログラムも配置しています。これらの科目を履修することで「読み」「書き」だけでなく、「話す」「聴く」能力を涵養します。

入学者の受入れに関する方針

（公表方法：<https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html>）

（概要）

城西大学経済学部は、学問を通して、論理的・多面的に考え、自ら問題解決する力を身につけ、自らの個性を生かして地域や国際社会に貢献することが期待できる、以下のような人物の入学を求めています。

知識・専門性・技能

●高等学校で学んだ主要教科・科目について、教科書レベルの知識をもっている。

●文献資料やデータを収集し、適切に処理することができる。

思考力・判断力・表現力

- 課題解決のために知識・技能を多面的、総合的に活用できる。
 - 自らの意見・考えを他者に的確に伝え、コミュニケーション・議論の中で自らの改善に活かすことができる。
- 主体的に取り組む態度
- 世の中の現状を経済という観点から考えることに関心をもち、それを学修や行動に移すことができる。
 - 知的好奇心をもって、入学までに培った基礎学力をさらに広げ・深めていこうとする向上心を持っている。
 - 経済学を中心に、経営、政策、法律、歴史、科学、思想、文学、言語などの幅広い分野にわたる教養を身につけ、それらを自らの興味関心と結びつけて自分の世界を広げていく向上心を持っている。
 - 論理的思考を修得しようとする。
 - 留学、スポーツ、文化的活動、ボランティア活動、資格取得など、大学内外、国内外における学びのフィールドを有機的に結び付けて、自分の学びをデザインしていく行動力を持っている。
 - 高い倫理観を持っている。

学部等名 現代政策学部

教育研究上の目的

(公表方法：<https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html>)

(概要)

現代政策学部は、政策学を中核とする学びとリベラルアーツ科目の学びにより、地域社会とグローバル社会の課題発見・解決のための知識とスキルを活用できる人材、生涯にわたり自律的に学び続けることができる人材、および高い倫理観を持ち社会貢献できる人材を育成すること、並びに幅広い学問分野において新しい価値を創造してその研究成果を教育や社会で実践することを教育研究上の目的とします。

卒業の認定に関する方針

(公表方法：<https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html>)

(概要)

現代政策学部は、建学の精神「学問による人間形成」に基づき、政策学を中核とする課題発見・解決のための幅広い分野の学びとリベラルアーツ科目の学びにより、生涯にわたり自律的に学び続けることができ、高い倫理観を持ち社会貢献できる人材を育成することを理念とします。

そのため、公共政策、ビジネス法務、医療福祉政策、地域イノベーション、および国際文化政策の5つの実践的な課題領域を設置し、政策学を中核とする幅広い知識とその応用スキルを身につけ、創造性、批判的思考、コミュニケーション能力や協働する力を涵養します。具体的には、次の8項目を教育目標とします。

- 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を

習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。

●自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。

●自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術（ICT）を効果的に活用する力。

●幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。

●実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。

●社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。

●社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。

●課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

上記に掲げる資質や能力を身に着けたもので、本学に4年以上在学し、所定の授業科目を履修して130単位以上を修得し、5つの課題領域から専攻を選択し、所定の単位を修めたものに「学士（現代政策学）」を授与します。

教育課程の編成及び実施に関する方針

（公表方法：<https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html>）

（概要）

現代政策学部では、本学部のディプロマ・ポリシーを実現するために、基本科目、専門科目、関連科目、自由科目を配置します。

また、政策学の専門分野を確立するために、公共政策、ビジネス法務、医療福祉政策、地域イノベーション、および国際文化政策の5つの課題領域を配置します。2年次より、この課題領域から専攻を選択します。

●政策学を学びの中核とし、その基礎的知識と手法を修得するための必修科目を配置します。

●5つの課題領域ごとに選択必修のコア科目を定めます。

●課外活動や事例研究をつうじて、地域社会及びグローバル社会の課題発見・解決の実現ができる人材を養成するため、必修の演習科目を全学年に配置し、統合的な能力を養います。

●学問の基礎を学び、幅広い教養と多様な価値観を獲得するために、社会科学、人文科学、自然科学の科目を配置します。

●日本語運用能力、数量的スキル、および情報通信技術（ICT）スキルを向上させる基礎教育科目を設定します。

●基礎的な外国語能力の習得のための科目を配置します。

●社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育成するため、キャリア科目を配置します。

<ul style="list-style-type: none"> ●心身の健康の保持と増進のために、スポーツ・保健体育科目を配置します。 ●次世代の人材育成を目指す学生のために、教職に関する科目を自由科目として配置します。
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html)</p>
<p>(概要)</p> <p>現代政策学部は、建学の精神「学問による人間形成」に基づき、政策学を中核とする課題発見・解決のための幅広い分野の学びとリベラルアーツ科目の学びにより、生涯にわたり自律的に学び続けることができ、高い倫理観を持ち社会貢献できる人材を育成するための教育を行います。</p> <p>そのために、本学部では、建学の精神と本学部の理念を理解し、かつ意欲をもって実践することを望む者で、以下に挙げる4つの資質の全てを有する学生を全世界から求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●政策学およびリベラルアーツ科目の学修に必要な知識と技能。 ●グローバルおよび地域の政策課題の学修に必要なレベルの日本語力と外国語力。 ●新しい環境において学修できる適応力と柔軟性。 ●自律的な学生生活を送り、目標達成をするために必要な主体性と協調性。 <p>以上の資質の全てを有し、かつそれらのうち1つ以上の資質に秀で、社会貢献の意欲がある多様な学生を受け入れるため、本学部では以下の選抜試験を実施します。すべての選抜試験において、高等学校の調査書（または実践活動経歴書）の提出を課します。一般選抜および外国人留学生入学試験では、本学独自の筆記試験を課します。総合型選抜、学校推薦型選抜、および外国人留学生入学試験では、口頭試問を課します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一般選抜では、特に知識と語学力を高く評価します。 ●大学入学共通テスト利用選抜では、特に知識と語学力を高く評価します。 ●総合型選抜では、特に適応力・柔軟性と主体性・協調性を高く評価します。 ●学校推薦型選抜では、特に知識と主体性・協調性を高く評価します。 ●外国人留学生入学試験では、特に大学での学習に適応できる日本語能力を高く評価します。

<p>学部等名 経営学部</p>
<p>教育研究上の目的 (公表方法：https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html)</p>
<p>(概要)</p> <p>経営学部は、営利組織だけでなく非営利組織も含めた社会におけるすべての組織に適合するマネジメントを学際的に研究し教育することにより、グローバルな視点とローカルな視点を持ち、新しい社会と産業を創造するプロフェッショナルの育成を目指します。</p>

<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html)</p>
<p>(概要) 経営学部では、地域社会や国際社会で活躍する起業家精神（アントレプレナーシップ）をもったマネジメントのプロフェッショナルの育成を目標としています。所定の単位を取得し、以下の知識・能力を修得したと判断された人に学士（経営学）を授与します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●幅広い教養とマネジメントについての専門的知識 ●地域社会や国際社会で活躍するための基礎的能力（コミュニケーション・リテラシーとメディア・リテラシー） ●マネジメントに関わる問題や課題を自ら発見し、解決するための思考力・判断力・実践力 ●起業家精神（アントレプレナーシップ）をもち、社会や組織の中でリーダーシップを発揮し、価値を創造する能力 ●多様な人と協力し、市民としての高い責任感と倫理観をもって主体的に社会に貢献する能力
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html)</p>
<p>(概要) 経営学部では、地域社会や国際社会で活躍する起業家精神（アントレプレナーシップ）をもったマネジメントのプロフェッショナルの育成を目標に掲げ、これを実現することを意図したカリキュラムを編成しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●将来の幅広い進路に対応した経営学、マーケティング、会計の知識・技能・問題解決能力を修得する教育を行います。 ●経営学をはじめとする社会科学の基礎を広く理解し、社会や産業に関する事象をマネジメントの視点からとらえる能力を養う教育を行います。 ●プロフェッショナルとしてグローバルに活動する基盤を形成するための情報通信技術、英語、会計の基礎教育を行います。 ●地域の行政や産業と連携し、地域社会の活性化に貢献する教育を行います。 ●大学における学修および生活やその後の人生を充実させるための初年次・導入教育、教養教育を徹底します。 ●大学卒業後の社会生活に向けた職業観を形成し、実務知識を修得するキャリア教育を行います。 ●教員志望の学生に対して、体系的な教職課程教育と教職人材育成プログラムにより、優秀な教員となるための支援を行います。 <p>理学部化学科のカリキュラムは、本学の理念を達成するため、初年次に開講される新入生向けの科目の学修により、ディプロマ・ポリシーで掲げた能力の開発および定着の基礎となる学習を徹底します。また、化学をつうじて国際社会で活躍するために、</p>

英語をつうじて化学を理解するための教育も行います。さらに、化学の専門分野の知識と技能が身につけられるように基本科目、関連科目および専門科目などの科目を設置し、段階的、体系的なカリキュラムを編成してディプロマ・ポリシーで掲げた能力を獲得します。教職を志望する人には、その職務の遂行に必要な知識と技能を身につけるための科目を設置します。

入学者の受入れに関する方針
(公表方法：<https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html>)

(概要)
経営学部は、グローバルな視点とローカルな視点を持ち、新しい社会と産業を創造できるマネジメントのプロフェッショナルの育成を目指します。経営学部の上記理念を理解し、本学での積極的な学習をとおして、企業・会計、環境・情報、行政・教育、健康スポーツ、観光・地域分野などで活躍することを目指す意欲をもっている人を受け入れます。 マネジメントを学ぶために必要である、高等学校での英語、国語、数学、社会系の科目（政治・経済、現代社会、倫理、日本史、世界史、地理など）の基礎学力を習得したうえで、以下の能力を有していることが望まれます。

- 論理的思考力や判断力、主体性など、自ら問題について考え、分析し、解決する能力
- コミュニケーションやプレゼンテーションの基礎能力

なお、語学、簿記、情報技術などの資格取得、生徒会、スポーツ・文化活動、ボランティア活動などで実績を示した人は、基礎的能力がある人材として高く評価されます。

学部等名 理学部

教育研究上の目的
(公表方法：<https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html>)

(概要)
理学部は、理学の本質を論理的・実証的に解析・考察する能力を持ち、複雑な社会情勢に適用できる人材の育成を目指して教育研究を行う。

1. 数学科は、綿密な論理構成と数学的な思考法を社会に応用できる人材の育成を目指して教育研究を行う。
2. 化学科は、化学的思考力と実験技術を併せもち、社会に貢献できる人材の育成を目指して教育研究を行う。

卒業の認定に関する方針
(公表方法：<https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html>)

(概要)
理学部では、理学の本質を論理的、実証的に解析・考察する能力と、複雑な社会情勢に適応できる能力を身につけ、さらに各学科の所定の要件を満たす人に学士（理学）の学位を授与します。
理学部数学科では、論理的思考ができ、現実の諸問題を数理的に解明し解決できる能

力を備えた人材、および中学・高校の数学教員として教育現場で教育を行うことのできる能力を備えた人材を育成することを目標として、以下の態度、意欲、技能を習得することを旨とした学位授与方針を満たした人に学士の学位を授与します。

●数学の知識と応用によって現代社会の多様な問題を数理的に理解する態度と問題を解決しようとする意欲（態度と意欲）

●数理科学の知識とコンピュータ技術によって現代社会の多様な問題の解決に貢献する技術と能力（技術と能力）

理学部化学科は、社会が持続的に発展するために必要な人材の育成を目標として、以下の能力を修得した人に学士の学位を授与します。

●大学課程の化学に関する専門的な知識や技能を備え、地域社会や国際社会で活躍できる能力

●化学の修得をつうじて獲得した、社会人として適切にふるまうことができる思考力、判断力、表現力や道徳的素養

●修得した化学の知識と技能を基礎として、社会の多様性に配慮して主体的かつ協働的に実社会に貢献できる能力

●教職を志望する人には、その職務の遂行に必要な能力

教育課程の編成及び実施に関する方針

（公表方法：<https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html>）

（概要）

理学部では、綿密な論理構成と数学的な思考法、または化学的思考能力と実験技術を併せもち、地域社会や国際社会において活用できる人材の育成のために、次の科目を用意しています。

●基礎的な英語の習得と高等学校と大学の橋渡しのための「基本科目」

●幅広い人間性を養うための「関連科目」

●数学・化学の専門性を養うための「専門科目」

●教育職員免許状取得のための「教職関連科目（自由科目）」

理学部数学科のカリキュラムは、本学の理念を達成するため、初年次に開講される新入生向けの科目の学修により、ディプロマ・ポリシーで掲げた態度、意欲、技能の修得の基礎となるための教育を行います。さらに、数学の専門分野の知識と技能が身につけられるように基本科目、関連科目および専門科目などの科目を設置し、段階的、体系的なカリキュラムを提供します。また、数学的な知識や技能を用いて国際社会で活躍するために、英語を通じてディプロマ・ポリシーで掲げた能力を身につけます。教職を志望する人には、その職務の遂行に必要な知識と技能を身につけるための科目を設置します。

入学者の受入れに関する方針

（公表方法：<https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html>）

(概要)

理学部では、理学の本質を論理的、実証的に解析・考察する能力と、複雑な社会情勢に適応できる能力を身につけるための教育を実践するために、自ら学ぶ主体性と意欲をもち、物事の課題や問題点を考え、解決するために意欲的に努力する人を求めます。理学部数学科では、数学の学習をつうじて人間形成を行うことを目指し、数学の知識をもって現代社会の要請にこたえて活躍できる以下のような人を求めています。

●数学に関する教養を広め、専門知識を習得するため、自ら積極的に学ぶ主体性と意欲をもつ人

●数学における課題や問題点を考え、解決するために意欲的に努力する人

●数学に関する知識や技能を用いた活動歴があり、本学でさらにスキルアップを期待する人

学校推薦型選抜（総合型選抜含む）による入学者の受け入れでは、上記の項目に加え以下の点にも留意して審査・評価します。

●数学科のディプロマ・ポリシーに対する適性

●数学の修得に必要な基礎学力と専門教育に関する教科の理解度

●学力だけでは計ることのできない能力や意欲、将来の可能性

●教職を含む各種資格取得など、明確な志望動機

高校では英語、数学(数学Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,A,B)を履修していることが望ましい

理学部化学科は、城西大学の建学の精神と目標を理解するとともに、本学の教育方針に共感する以下のような人の入学を期待します。

●化学に関する教養を広め、専門知識の向上、資格取得のため、自ら積極的に学ぶ主体性と意欲をもつ人

●化学における課題や問題点を考え、解決するために意欲的に努力する人

●化学に関する学業、調査・研究などの分野で優れた活動歴があり、本学でさらにその分野の可能性を伸ばしたい人

学校推薦型選抜（総合型選抜含む）による入学者の受け入れでは、上記の項目に加え以下の点にも留意して審査・評価します。

●化学科のディプロマ・ポリシーに対する適性

●化学の修得に必要な基礎学力と専門教育に関する教科の理解度

●基礎学力として高等学校で英語、国語、数学、理科を履修し、理科では化学の他、生物や物理も履修することが望ましい

●学力だけでは計ることのできない能力や意欲、将来の可能性

●教職を含む各種資格取得など、明確な志望動機

学部等名 薬学部

教育研究上の目的

(公表方法：<https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html>)

<p>(概要)</p> <p>薬学部は、主観的 QOL (quality of life : 生活と人生の質) に関わる領域を広く研究し、人々が生活と人生の質を高く維持し、健康のより良い状態を目指すことを支援する人材の育成を目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 薬学科は、基本的な薬学の知識に加え、教育研究を通して医療人としての専門知識と実践力、さらには倫理性を身につけ、人々の健康増進を積極的に支援する薬剤師の育成を目指します。 2. 薬科学科は、基本的な薬科学の知識に加え、教育研究を通して研究者・技術者としての専門知識と実践力、さらには倫理性を身につけ、社会に貢献できる人材の育成を目指します。 3. 医療栄養学科は、教育研究を通して人々の健康増進を支援する管理栄養士の育成を目指し、さらに医療における栄養学の高度化を目指します。
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法 : https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html)</p>
<p>(概要)</p> <p>薬学部では、人々が生活と人生の質を高く維持し、健康のより良い状態を目指すことを支援できる専門知識・技能、思考力・判断力・表現力を有し、実社会に貢献できる能力を身につけ、さらに各学科の所定の要件を満たす人に学士(薬学、薬科学、医療栄養学)の学位を授与します。</p> <p>薬学科は、基本的な薬学の知識に加え、医療人として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備え、人々の健康増進を積極的に支援する薬剤師の育成を目的としています。このような教育目的に沿って構築されたカリキュラムを履修して卒業時に次に掲げる能力を修得し、さらに本学科の所定の卒業要件を満たした人に対して、卒業を認定し、学士(薬学)の学位を授与します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●医療人としての強い自覚をもち、深い専門的な知識、広い教養と豊かな人間性を備え、関連する広範な分野で活躍する能力 ●医療人として適切にふるまうことができる道徳的能力や思考力、判断力、表現力に加え、薬学を基盤とした研究力を有し、人々の健康増進に貢献する能力 ●医療人としての深い専門的な知識と技能を、地域社会の維持・発展に対して、グローバルな視点をもって積極的に利用する能力 ●医療・介護・福祉制度、多職種の役割を理解し、地域包括ケアシステムやチーム医療の場において主体的かつ協働的に貢献する薬剤師としての能力 ●栄養学の素養、食と健康の関係に関わる知識を有し、例えば、かかりつけ薬剤師として、人々の身近にいて、その健康維持に貢献する能力 <p>薬科学科は、基本的な薬科学の知識に加え、研究者・技術者として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備えて社会に貢献できる人材の育成を目的としています。この目的を達成するために構築されたカリキュラムを履修して卒業時に次に掲げる能力を修得し、さらに本学科の所定の卒業要件を満たした人に対して、卒業を認定し、</p>

学士（薬科学）の学位を授与します。

●人々の生活を支援する研究者・技術者としての強い自覚をもち、広い教養と豊かな人間性を備え、社会で活躍する能力

●研究者・技術者として深い専門的な知識や技能を備え、地域社会や国際社会で活躍できる能力

●研究者・技術者として適切にふるまうことができる道徳的能力や思考力、判断力、研究力を有し、高度な科学技術に貢献できる能力

●薬学、化粧品・香粧品学、食品・栄養学の素養を有し、関連する広範な分野で主体的かつ協働的に貢献できる薬科学研究者・技術者になる能力

●薬科学の基礎知識を基盤としてさらに高い専門性を有する薬科学を学び研究力を発展させることができる能力

医療栄養学科は、基本的な医療栄養学の知識に加え、医療人として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備えて社会に貢献できる人材の育成を目的としています。このような目的に沿って構築されたカリキュラムを履修して卒業時に次に掲げる能力を修得し、さらに本学科の所定の卒業要件を満たした人に対して、卒業を認定し、学士（医療栄養学）の学位を授与します。

●医療人としての強い自覚をもち、広い教養と豊かな人間性を備え、社会で活躍できる能力

●医療人として深い専門的な知識や技能を備え、地域社会や国際社会で活躍できる能力

●医療人として適切にふるまうことができる道徳的能力や思考力、判断力、表現力に加え、医療栄養学を基盤とした研究力を有し、人々の健康増進に貢献できる能力

●医療制度、他職種の役割を理解し、チーム医療において主体的かつ協働的に貢献する管理栄養士になる能力

●医学、薬学の素養を有し、関連する広範な分野で人々の健康を守るために活躍できる管理栄養士になる能力

教育課程の編成及び実施に関する方針

（公表方法：<https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html>）

（概要）

薬学部では、自立した社会人としての意識づけを行うことと、外国語の習得のための「基本科目」、幅広い人間性を養う上で有用な「関連科目」を配置しています。さらに、医療や健康に関して高い専門性を有した医療人・技術者の育成に必要な「専門科目」を配置し、段階的、体系的なカリキュラムを編成しています。

薬学科は、基本的な薬学の知識に加え、医療人として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備え、人々の健康増進を積極的に支援する薬剤師の育成を目的としています。この教育目的を達成するために、基本科目、専門科目および関連科目を配置し、以下のカリキュラム・ポリシーを設定しています。

- 医療人・薬剤師としての自覚を育て、道徳的能力を養うため、基本科目のフレッシュマンセミナーや総合薬学分野Ⅰが準備されています。
- 基本科目としての英語科目を設定し、英語でのコミュニケーション能力の基礎を養成します。関連科目には、人文系科目、社会系科目、外国語科目、体育系科目および語学教育センター講座科目が配置され、幅広い教養と豊かな人間性を養います。
- 医療人・薬剤師としての深い専門的な知識や技能は、専門科目全体をつうじて養います。
- 生理・治療分野および医療薬学分野に配置されている栄養関連の科目をとおして食、栄養に関する知識を深め、食をつうじて人々の健康を護る能力を併せもつ薬剤師の育成を目指します。
- 総合薬学分野Ⅱに配置されている科目によって、医療・介護・福祉制度、多職種の役割を理解し、高度医療への対応力と、社会の多様性に対応して関連する広範な分野で人々の健康を護るために活躍できる薬剤師になる能力を養います。
- 実務実習、専門語学科目をつうじて、医療人として適切にふるまうことができる思考力、判断力、実践力、国際コミュニケーション力を有する薬剤師の育成を目指します。
- 卒業研究では、課題発見能力・問題解決能力を身につけ、基本的研究力を養います。また自らの考えを表現・発信するプレゼンテーション力を身につけます。薬科学科は、基本的な薬科学の知識に加え、研究者・技術者として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備えて社会に貢献できる人材の育成を目的としています。この目的を達成するために、基本科目、専門科目および関連科目を配置し、以下のカリキュラム・ポリシーを設定しています。
- 生活者を支援する研究者・技術者としての自覚を育て、道徳的能力および幅広い教養と豊かな人間性を養うため、基本科目のフレッシュマンセミナー、総合薬科学分野Ⅰの医薬品・食品・化粧品概論など、さらに関連科目を配置しています。
- 基本科目は、大学における学習方法や、学生生活の指導をつうじて自立した社会人としての意識付を行い、英語でのコミュニケーション能力の基礎を養うために、英語科目を配置しています。
- 専門科目（総合薬科学分野、基礎薬科学分野、生理・治療分野および医療薬科学分野）は、薬、食および化粧品などとして開発・生産される化学物質に関する知識集約型産業分野において活躍できる高い専門性を有する研究者・技術者を養成するために配置しています。
- 関連科目には、幅広い教養と豊かな人間性を養うために、人文系科目、社会系科目、外国語科目、体育系科目および語学教育センター講座科目を配置しています。
- 異文化理解力および国際的コミュニケーション力の向上を目指し、海外姉妹校で単位を修得するセメスター留学制度を設けています。
- 薬科学卒業研究、専門語学科目をつうじて、研究者・技術者として適切にふるまうことができる思考力、判断力、実践力、国際コミュニケーション力を養います。

- 薬科学卒業研究では、研究の基礎となる課題発見能力、問題解決能力、自らの考えを表現・発信するプレゼンテーション能力を身につけます。
 - 臨床検査技師の素養・資格をもった薬科学技術者を目指す人のために、必要な科目を必修、選択および自由科目として配置しています。
 - 中学校・高等学校教諭（理科）を目指す人のために、教職関連科目を配置しています。
- 医療栄養学科では、「幅広い教養と豊かな人間性を有し、地域社会ならびに国際社会において活躍できる専門性を身につけた管理栄養士の養成」を達成することを目標としています。この教育目標を達成するために、基本科目、専門科目および関連科目を配置し、以下のカリキュラム・ポリシーを設定しています。
- 医療人・管理栄養士としての自覚を育て、道徳的能力を養うため、基本科目のフレッシュマンセミナー演習、医療栄養学概論・演習が準備されています。
 - 基本科目として英語科目を設定し、英語でのコミュニケーション能力の基礎を養成します。
 - 医療人・管理栄養士としての深い専門的な知識や技能は、専門科目全体をつうじて養います。
 - 専門科目の基礎医療栄養学分野、衛生・公衆栄養学分野、医療栄養学分野の科目によって、医学、薬学の素養を有する栄養学のスペシャリストの育成を目指します。
 - 関連科目には、人文系科目、社会系科目、外国語科目、体育系科目および語学教育センター講座科目が配置され、幅広い教養と豊かな人間性を養います。
 - 臨地実習、専門語学科目などにより、医療人として適切にふるまうことができる思考力、判断力、実践力、国際コミュニケーション力を有する管理栄養士の育成を目指します。
 - 卒業研究では、課題発見能力・問題解決能力を身につけ、基本的研究力を養います。また自らの考えを表現・発信するプレゼンテーション力を身につけます。
 - 専門科目の中から所定の単位を取得することにより、食品衛生管理者および食品衛生監視員の資格を得ることができます。また、栄養教諭を目指す人のために、「教職関連科目（自由科目）」を用意しています。

入学者の受入れに関する方針

（公表方法：<https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html>）

（概要）

薬学部では、「人々の主観的QOL（quality of life：生活と人生の質）」を高く維持し、健康のより良い状態を目指すことを支援できる人材を育成します。よって、医療・健康分野で貢献できる人材として、薬学部における知識修得に必要な基礎学力を有するとともに、自ら積極的に学ぶ主体性と意欲をもち、物事の課題や問題点を捉え、解決するために意欲的に努力する人を求めます。

薬学科は、基本的な薬学の知識に加え、医療人として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備え、人々の健康増進を積極的に支援する薬剤師の育成を目指します。し

たがって以下のような人の入学を求めます。

関心・興味・意欲

- かかりつけ薬剤師として地域社会で暮らす人々の健康増進に貢献したいと考えている人。
- チーム医療の場で多職種と連携して活躍したいと考えている人。
- 食と栄養に強い薬剤師になりたいと考えている人。
- グローバル化する社会に対応できる薬剤師になりたいと考えている人。
- 薬剤師として求められる研究力を身につけ、薬学と医療の発展に貢献したいと考えている人。

期待する能力：知識・専門性

- 薬学教育に対応できる十分な基礎学力をもつ人。
- 高等学校で履修すべき教科・科目英語、国語、数学、化学（物理・生物も履修することが望ましい）。

期待する能力：態度・人格・思考・判断・実践的スキル・表現

- 教養を深め、専門知識の向上を目指して、薬剤師資格取得のため、自ら積極的に学ぶ主体性と意欲をもつ人。
- 論理的・科学的な思考に基づいて物事の課題や問題点を捉え、解決するために意欲的に努力する人。
- 基本的なコミュニケーション力・プレゼンテーション力をもつ人。

薬科学科は、基本的な薬科学の知識に加え、研究者・技術者として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備えて社会に貢献できる人材の育成を目的としています。したがって以下のような人の入学を求めます。

関心・興味・意欲

- 医薬品関連、機能性食品、化粧品や機能性化粧品などの研究者または開発者になりたいと考えている人。
- 生命科学関連の研究者になりたいと考えている人。
- 薬科学研究者・技術者として、グローバル化する社会に貢献したいと考えている人。
- 医薬品、機能性食品、化粧品分野で起業したいと思っている人。
- 人々の健康と安心・安全に寄与して働きたいと思っている人。

期待する能力

- 薬学・薬科学教育に対応できる十分な基礎学力をもつ人。
- 高等学校で履修すべき教科・科目英語、国語、数学、理科（化学、生物）（物理も履修することが望ましい）。
- 教養を深め、専門知識の向上を目指して、資格取得のため、自ら積極的に学ぶ主体性と意欲をもつ人。
- 論理的・科学的な思考に基づいて物事の課題や問題点を捉え、解決するために意欲的に努力する人。

●基本的なコミュニケーション力・プレゼンテーション力をもつ人。

医療栄養学科は、人々の健康増進を支援する管理栄養士の育成を目指します。したがって以下のような人の入学を求めます。

関心・興味・意欲

●個人をみることができる管理栄養士を目指している人。

●地域ならびに国際的な医療・福祉活動に貢献できる管理栄養士を目指している人。

●薬や病気と最新の栄養学を学ぼうとしている人。

●栄養教諭として社会に貢献したい人。

●食品衛生管理者、食品衛生監視員として社会に貢献したい人。

期待する能力：知識・専門性

●医療栄養学教育に対応できる十分な基礎学力をもち、医療栄養学に強い意欲をもつ人。

●高等学校で履修するのが望ましい教科・科目英語、国語、理科（化学、生物）。

期待する能力：態度・人格・思考・判断・実践的スキル・表現

●教養を深め、専門知識の向上を目指して、管理栄養士資格取得のため、自ら積極的に学ぶ主体性と意欲をもつ人。

●論理的・科学的な思考に基づいて物事の課題や問題点を捉え、解決するために意欲的に努力する人。

●基本的なコミュニケーション力・プレゼンテーション力をもつ人。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/2021.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
経済学部	—	10人	5人	0人	6人	0人	21人
現代政策学部	—	7人	11人	0人	2人	0人	20人
経営学部	—	16人	13人	0人	5人	0人	34人
理学部	—	23人	10人	0人	4人	0人	37人
薬学部（4年制）	—	12人	12人	0人	12人	6人	42人
薬学部（6年制）	—	24人	14人	0人	20人	6人	64人
教養部	—	3人	6人	0人	4人	0人	13人
その他	—	0人	1人	0人	3人	0人	4人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1人		229人					230人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://researcher.josai.ac.jp/search?m=home&l=ja					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
経済学部	300人	292人	97.3%	1,200人	1,264人	105.3%	欠員の範囲	3人
現代政策学部	250人	212人	84.8%	1,000人	1,055人	105.5%	欠員の範囲	4人
経営学部	500人	485人	97.0%	2,000人	2,065人	103.3%	欠員の範囲	22人
理学部	210人	233人	111%	840人	864人	102.9%	欠員の範囲	0人
薬学部（4年制）	150人	114人	76%	600人	519人	86.5%	欠員の範囲	0人
薬学部（6年制）	250人	199人	79.6%	1,500人	1,364人	90.9%	欠員の範囲	0人
合計	1,660人	1,535人	92.5%	7,140人	7,131人	99.9%		29人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
経済学部	281人 (100%)	3人 (1.1%)	228人 (81.1%)	50人 (17.8%)
現代政策学部	299人 (100%)	7人 (2.3%)	234人 (78.2%)	58人 (19.5%)
経営学部	457人 (100%)	4人 (0.8%)	377人 (82.5%)	76人 (16.7%)
理学部	158人 (100%)	9人 (5.7%)	129人 (81.6%)	20人 (12.7%)
薬学部	349人 (100%)	44人 (12.6%)	285人 (81.7%)	20人 (5.7%)
合計	1544人 (100%)	67人 (4.3%)	1253人 (81.2%)	224人 (14.5%)
<p>(主な進学先・就職先) (任意記載事項)</p> <p>・進学先 (大学院)</p> <p>【経済学部】 國學院大學大学院経済学研究科、城西大学大学院経済学研究科</p> <p>【現代政策学部】 立教大学大学院社会学研究科、城西大学大学院経営学研究科</p> <p>【経営学部】 宇都宮大学大学院 教育学研究科、城西大学経営学研究科</p> <p>【理学部化学科】 茨城大学大学院理工学研究科量子線科、城西大学大学院物質科学専攻</p> <p>【理学部数学科】 埼玉大学大学院理工学研究科、城西大学大学院理学研究科</p> <p>【薬学部薬科学科】 東北大学大学院生命科学研究所、金沢大学大学院薬学研究科、城西大学大学院薬学研究科</p> <p>【薬学部医療栄養学科】 静岡県立大学大学院、熊本県立大学大学院、日本女子大学大学院、城西大学大学院薬学研究科</p> <p>・就職先</p> <p>≪経済学部≫</p> <p>【金融】 りそなグループ、(株)きらやか銀行、中央労働金庫、西武信用金庫、水戸証券(株)</p> <p>【病院】 板橋中央総合病院グループ、独立行政法人国立病院機構 関東信越グループ</p> <p>【公務】 特別区(東京 23 区役所・組合)、深谷消防本部、埼玉県警察本部</p> <p>【教員】 埼玉県公立学校教員</p> <p>【メーカー】 東洋水産(株)、クリナップ(株)</p> <p>【不動産】 ミサワホーム(株)、野村不動産アーバンネット、(株)一条工務店、旭化成リフォーム(株)</p> <p>【ICT】 富士ソフト(株)</p> <p>【農協】 さいたま農業協同組合</p> <p>【その他】</p>				

パートナーズプロジェクト税理士法人

《現代政策学部》

【公務】

所沢市役所、埼玉県警察本部、警視庁、山梨県警察本部、防衛省自衛隊埼玉地方協力本部

【鉄道・運輸】

東京地下鉄株

【小売】

(株)ヤオコー、(株)ベルク、(株)マミーマート、(株)LIXILビバ (株)、セキ薬品、埼玉スバル(株)、(株)カワチ薬品、埼玉ダイハツ販売株、東日本三菱自動車販売株、埼玉日産自動車株、富士スバル株、埼玉ダイハツ販売株、ブリヂストンタイヤジャパン株

【商社】

田中商事株、HALMECグループ、デリカフーズ株、(株)メイク、明治商工株、日本メカケア株、(株)日本電商、山本商会株、辺パイプ株、(株)ペルーナ、(株)ニップコーポレーション、千代田三菱電機機器販売株

【不動産・建設・住宅】

大林ファシリティーズ株、東京冷機工業株、コンクリートコーリング株、(株)一条工務店、明和地所株、(株)アズ企画設計、グランディハウス株、東邦ハウジング株、古郡ホーム株、(株)ナミキ

【信用金庫・信用組合・農協】

埼玉縣信用金庫、茨城県信用組合、さいたま農業協同組合、いるま野農業協同組合、佐波伊勢崎農業協同組合、南彩農業協同組合、さがえ西村山農業協同組合、東京都農業協同組合中央会

《経営学部》

【建設業】

大林組株、積水ハウス株、大和ハウス工業株、住友林業株、(株)日立ビルシステム、高砂熱学工業株、東鉄工業株、(株)協和エクシオ、三井ホーム株

【製造業】

富士通株、JFE スチール株、日鉄鉱業株、日本製鉄株、(株)SUBARU、(株)デンソー、(株)アイシン、本田技研工業株、愛三工業株、積水化学工業株、アイリスオーヤマ株、理研計器株、静岡株、北越コーポレーション株、ソフトバンクグループ、(株)伊藤園

【電気・ガス・熱供給・水道業】

中国電力株、東京ガスエネワーク株、日本瓦斯株

【情報通信業】

(株)USEN、(株)NTT 東日本-関信越、富士ソフト株、(株)キューブシステム、(株)クレオ

【運輸業】

東日本旅客鉄道株、東京地下鉄株、日本郵便株、(株)AIR DO

【卸売・小売業】

(株)セブン-イレブン・ジャパン株、ドトールコーヒー、リコージャパン株、(株)イトーヨーカ堂、(株)ユニクロ、(株)エービーシー・マート、(株)ビックカメラ、(株)ヨドバシカメラ、アディダス ジャパン株、(株)フォーバル

【金融・保険】

(株)三井住友銀行、りそなグループ、(株)ゆうちょ銀行、(株)第四北越銀行、埼玉縣信用金庫、飯能信用金庫、(株)ホンダファイナンス

【不動産・物品賃貸業】

住友不動産販売株、(株)明和地所、スターツコーポレーション株、東建コーポレーション株

【飲食店・宿泊業】

(株)ホテルオークラ東京、(株)星野リゾート・マネジメント、(株)プリンスホテル

【教育・学習支援】

埼玉県公立学校教員、(学)関東学院大学、(学)埼玉医科大学、愛知県公立学校教員

【医療・福祉業】

戸田中央医科グループ、IMS グループ、上尾中央医科グループ

【複合サービス】

JA いるま野、JA ほくさい、JA 全農さいたま

【その他サービス】

(株)日本旅行、(株)ADK ホールディングス、日本年金機構、総合警備保障(株)、(株)日本レストランエンタプライズ、(株)パソナ

【公務】

自衛官、警視庁、埼玉県警察本部、栃木県警察本部、川口市消防本部、習志野市役所、富里市役所、春日部市役所、坂戸市役所、壬生町役場

《理学部 化学科》

【メーカー】

興亜産業(株)、武州製薬(株)、小島化学薬品(株)、(株)昭工舎、(株)ピククルスコーポレーション

【教員】

埼玉県公立学校教員、山村国際高等学校

【臨床】

(株)LSIメディエンス

【小売】

(株)セキ薬品、(株)オートセンター新生

【ICT】

コンピュータロン(株)

【不動産】

住友不動産販売(株)

【金融】

青木信用金庫

【インフラ】

東京ガスパイプネットワーク(株)

【その他】

(財)新日本検定協会、日本空調サービス(株)、(株)アウトソーシングテクノロジー、(株)ワールドインテック、(株)FMC、(株)ビーネックステクノロジーズ

《理学部 数学科》

【教育】

東京都・埼玉県・栃木県・新潟県各公立学校、 私立千葉黎明高等学校、私立日本大学三島高等学校

【情報・通信】

富士通アドバンスドエンジニアリング、 (株)OKI ソフトウェア、(株)ISID インターテクノロジー、ムトーアイテックス(株)、キーウェアソリューションズ(株)

【金融】

埼玉懸信用金庫、(株)静岡中央銀行、城北信用金庫、明治安田生命保険

《薬学科》

【調剤薬局】

I & H(株) (阪神調剤グループ)、日本調剤(株)、(株)アイセイ薬局、ハート薬局、(株)アインホールディングス、(株)ハローコーポレーション、アポクリート(株)、(株)ファーコス、(株)飛鳥薬局、マリイングループ、(株)ウィーズ、ミアヘルサ(株)、有限会社ウインファーマ、(株)メディカルシステムネットワーク (なの花薬局)、エスシーグループ、(株)雄飛堂、クオール(株)、

クラフト(株)、(株)シーエスグループ本部、すみれ薬局、総合メディカル(株)、徳永薬局(株)

【ドラッグストア】

イオンリテール(株)、ウエルシア薬局(株)、(株)クスリのアオキ、(株)クリエイト エス・ディー、(株)ココカラファイン、(株)サンドラッグ(株)スギ薬局、(株)セキ薬品、(株)千葉薬品、(株)ツルハ、(株)トモズ、(株)富士薬品

【病院】

IMS グループ、戸田中央医科グループ、上尾中央総合病院、羽生総合病院、医療法人社団 武蔵野会、学校法人国際医療福祉大学、国際医療福祉大学病院、伊那中央病院、埼玉医科大学国際医療センター、深谷赤十字病院、医療法人 仁和会、竜王リハビリテーション病院、医療法人社団 愛友会、勝田病院、社会医療法人 至仁会、圏央所沢病院、学校法人国際医療福祉大学、三田病院、埼玉医科大学病院、社会医療法人社団 埼玉巨樹の会、新久喜総合病院、医療法人徳洲会、庄内余目病院、学校法人 獨協学園 獨協医科大学埼玉医療センター、社会医療法人 刀仁会 坂戸中央病院、社会医療法人緑泉会、米盛病院、社会医療法人 中信勤労者医療協会、松本協立病院、医療法人 沖縄徳洲会、南部徳洲会病院、埼玉医療生活協同組合

【企業 (MR)】

大原薬品工業(株)、杏林製薬(株)、協和キリン(株)、久光製薬(株)、マルホ(株)

【企業 (研究開発・治験)】

エイツーヘルスケア(株)

【公務】

埼玉県職員 (薬剤師)、さいたま市職員 (薬剤師)、厚生労働省 麻薬取締部、陸上自衛隊 (薬剤師)

《薬科学科》

【食品】

(株)久田

【化粧品】

(株)ホルスグループ、資生ケミカル(株)、(株)DHC、(株)アルビオン、ピアス(株)

【治験】

(株)ビー・エム・エル

【ドラッグストア】

(株)カワチ薬品、(株)セキ薬品、(株)ココカラファイン、ウエルシア薬局(株)

【その他】

有限会社加藤牧場、(株)島村工業、藤倉電気工業(株)、ニシハラ理工(株)、日建トータルソーシング(株)、WDB(株)

《医療栄養学科》

【病院】

(独) 国立病院機構 関東信越グループ、前橋赤十字病院、戸田中央医科グループ、埼玉県済生会栗橋病院、(医)沖縄徳洲会 武蔵野徳洲会病院

【介護老人福祉施設】

特別養護老人ホームこもればの郷、社会福祉法人よし乃郷、社会福祉法人常盤福祉会、モード・プランニング・ジャパン 雲母保育園、社会福祉法人とねの会こども園、さくらさくみらい、こどもの森グループ、ポピンズ、ときがわ町玉川保育園、ライクアカデミー

【ドラッグ・調剤】

トモズ、ウエルシア薬局、ココカラファイン、セキ薬品、クリエイトエス・ディー、マツモトキョシ、エフケイ、クオール、ツルハドラッグ、フォーラル、薬樹、望星薬局、カワチ薬品

【給食委託施設/フードサービス】

日清医療食品、西洋フード・コンパスグループ、富士産業、エームサービス、LEOC、センダン、アスモフードサービス、東京天竜、メフォス、日本栄養給食協会、日本マクドナル

<p>ド、セブン&アイ・フードシステムズ、ファンデリー</p> <p>【食品メーカー】</p> <p>キリンビール、キューピー、東洋水産、花王、山崎製パン、菊池食品工業、武蔵野フーズ、石井食品、BML、フード・サイエンス、クリニコ、ドンク、富岡食品、敷島製パン</p> <p>【医薬品メーカー】</p> <p>Meiji Seika ファルマ、EA ファーマ、ノバルティスファーマ、杏林製薬、全薬工業</p> <p>【その他企業】</p> <p>住友生命、みずほビジネスサービス、JA 全農、アルプロン、ティップネス、江原道、群馬県薬剤師会 環境衛生試験センター、アールピーエム</p> <p>【公務】</p> <p>埼玉県職員、東京都職員、飯能市職員</p>
(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
経済学部	335人 (100%)	274人 (81.8%)	19人 (5.7%)	42人 (12.5%)	0人 (0%)
現代政策学部	303人 (100%)	242人 (79.9%)	25人 (8.3%)	36人 (11.9%)	0人 (0%)
経営学部	525人 (100%)	420人 (80.0%)	30人 (5.7%)	75人 (14.3%)	0人 (0%)
理学部	211人 (100%)	143人 (67.8%)	27人 (12.8%)	41人 (19.4%)	0人 (0%)
薬学部	425人 (100%)	307人 (72.2%)	48人 (11.3%)	70人 (16.5%)	0人 (0%)
合計	1,799人 (100%)	1,386人 (77.0%)	149人 (8.3%)	264人 (14.7%)	0人 (0%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>シラバスに科目担当教員が授業の目的・目標、学修成果、到達目標、授業毎に講義の内容等を公表しています。</p> <p>さらに、授業の方法や成績評価方法、オフィスアワーの時間帯、居室等も記載しています。</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
<p>年度末に開催される各学部の卒業判定教授会において、最終学年(4年生<薬学科は6年生>)の成績評価表を基に、それぞれの学部にて定められた卒業要件の科目の成績が適切に評価されているかの確認をしたうえで、卒業の可否を決定する。〔各学部において定められた分野の科目の評価を確認〕</p> <p>なお、学生に対する卒業可否についての発表は「卒業発表日」(年間行事予定表に掲載)を行う。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
経済学部	経済学科	128 単位	①・無	1 年生 48 単位 2 年生以上 44 単位
現代政策学部	社会経済システム学科	130 単位	①・無	48 単位
経営学部	マネジメント総合学科	132 単位	①・無	1 年生 48 単位 2 年生以上 44 単位
理学部	数学科	124 単位	①・無	49 単位
	化学科	128 単位	①・無	1 年生 49 単位 2 年生以上 48 単位
薬学部	薬学科	186 単位	①・無	49 単位
	薬科学科	124 単位	①・無	49 単位
	医療栄養学科	131 単位	①・無	49 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法：https://www.josai.ac.jp/about/campus/index.html</p> <p>なお、紙媒体の大学案内にも掲載しております。</p> <p>*紙媒体入手方法</p> <p>城西大学入試課宛てに電話の上入手可能</p> <p>TEL 049-271-7711 (直通)</p>
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
経済学部	経済学科	700,000 円	270,000 円	284,000 円	施設設備費 休学中の在籍料
現代政策学部	社会経済システム学科				
経営学部	マネジメント総合学科				
理学部	数学科	880,000 円	270,000 円	284,000 円 120,000 円	施設設備費 休学中の在籍料
	化学科	963,000 円	300,000 円	402,000 円 120,000 円	施設設備費 休学中の在籍料
薬学部	薬学科	1,460,000 円	300,000 円	511,000 円 (2年目以降は 611,000 円) 120,000 円	施設設備費 休学中の在籍料
	薬科学科	1,260,000 円	300,000 円	486,000 円 120,000 円	施設設備費 休学中の在籍料
	医療栄養学科	1,380,000 円	300,000 円	306,000 円 (2年目以降は 486,000 円) 120,000 円	施設設備費 休学中の在籍料

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) ①学内奨学金として、入学成績上位者に対する授業料減免制度、学業成績・人物優秀者に対する授業料減免制度、経済困窮者への経済支援奨学金制度、本学独自制度による海外留学に伴う奨励制度、海外からの留学生に対する授業料減免制度、学費支弁者の死亡による授業料・施設整備費の全額補助制度があります。 ②学外奨学金として、日本学生支援機構、地方公共団体、民間団体の奨学金を活用し支援を行っています。 ③障がい学生には、学生サポート、学内のバリアフリー化等、可能な限りの支援を行っている。 ④学部学生には、選考により、教育的配慮の下に学内業務に従事させ、経済的援助を行い、修学の奨励を図っています。(ワークスタディ・プログラム制度) ⑤図書館においては、論文やレポートの書き方のアドバイス、文献の探し方やパソコンの使い方を教える、学生アドバイザーを配置し学習支援にあたっています。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 本学では、就職支援のために就職委員会を組織し、全学的事務組織としてのキャリアサポートセンターと連携しながら、就職支援活動を進めている。就職委員は各学部を担当教員がおり、教授会等で就職状況を報告し、ゼミナール、研究室担当教員と連携を取りながら、個々の学生の就職活動を支援している。 キャリアサポートセンターの中に就職支援室、就職資料室、学習室がある。支援室には受付カウンター、個別面談室(4室)、ビデオ及びモニター(1組)、学生用コピー機(1機)、閲覧テーブル、就職関係書架、就職活動用PC設備(常時開放、10台)があり、日曜祝日等を除いて利用可能である。資料として求人票、会社案内等がファイリングされ閲覧でき、各種イベントなどのポスター掲示もしている。 さらに、本学ホームページ(http://www.josai.ac.jp/career/index.html)を利用して就職活動関連情報を提供している。また、学生個人の就職活動を支援するウェブサイト「城西インターンシップ・求人管理システム(キャリタスUC)」も提供している。 上記の環境をもとに、学生一人ひとりが納得のいく進路決定ができるよう、様々なサポー

トを行っている。具体的な内容は、きめ細かな個別指導、先を見据えた各種ガイダンスの開催、企業の採用活動状況を鑑みた時期での情報提供の3点である。

① きめ細かな個別指導

各学年と個人の考えや状態に合わせた助言をキャリアカウンセラー(国家資格キャリアコンサルタント資格保有職員)が行っている。その体制は、各学部担当を設け、全学生の把握できるようにしている。主な助言は、進路・職業の選択の相談からエントリーシート・履歴書の書き方・添削、模擬面接等である。

② 先を見据えた各種ガイダンスの開催

大きく分けて低学年向け(学部1年生～2年生)、就職活動の準備学年向け(学部3年生、大学院1年生～3年生)、就職活動生向け(学部4年生、大学院2年生～4年生)と3つに分かれる。低学年向けでは、課題解決型の講座、職業適性検査、SPI模試などで就職意識の醸成を図る計画、就職活動の準備学年向けでは、履歴書・エントリーシートの作成方法や、自己分析、企業研究の仕方や必要な情報提供など実践的な内容で開催。就職活動生向けでは、企業研究会を時期に応じて2回の開催、求人紹介会をハローワークと連携し開催。

③ 企業の採用活動状況を鑑みた時期での情報提供

「城西インターンシップ・求人管理システム」を活用して、最新の求人・インターンシップ・対策講座・各種ガイダンス情報、相談ができる時間を公開し、提供を行っている。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

①保健センターは看護師が定期健康診断、突発的な怪我や病気等に対応を行っています。

(ア) 授業中に気分が悪くなったとき

(イ) 課外活動中の怪我をしたとき

(ウ) 持病をもっている学生の健康管理

(エ) 週一回内科医による健康相談が可能です。

(オ) 神経科・心療内科医師による悩みごと相談が可能

②学生相談室は、公認心理師、臨床心理士が学生の悩みごとや心配ごとなどに対応をしています。

(ア) 学生支援が必要な学生に対し、担当学部、学科の教職員と調整を行い授業が受けられるよう支援

(イ) 課外活動、学業のこと、友人関係のことなどの悩みごとなど対応

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.josai.ac.jp/about/information/kohyo/publication.html>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F111310102094
学校名	城西大学
設置者名	学校法人 城西大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		305人	308人	329人
内 訳	第Ⅰ区分	183人	180人	
	第Ⅱ区分	71人	84人	
	第Ⅲ区分	51人	44人	
家計急変による支援対象者（年間）				-
合計（年間）				334人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	—		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	—		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	—		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	0人	前半期	後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	—
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	24人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	24人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。